



# 山岳医療ホットラインシステム



蝶ヶ岳ヒュッテ

北アルプス南部、槍穂高連峰は登山シーズンには多くの登山者を迎えます。ところがその厳しい地勢のために滑落などの事故が絶えません。盆前後の山小屋には医大のボランティアが常駐しますが、そうでない時期には山小屋の従業員が応急手当をする場合があります。そのような事態に備えてネットミーティングを用いて医大からの指示を仰ぐのがこのシステムです。



北穂高小屋



## 仕様

山岳医療ホットライン用 50W\*8=400 W

## システムの概要

